

# 【OFFICE BANK Value（OBC 製）をご利用】

## 1. 現在の振込手数料テーブル設定を確認します。

(1) メインメニューから次の手順で「振込手数料登録」画面を開きます。

- ① 「一括伝送」のタブをクリックします。
- ② 「2.総合振込」－「4.マスタ登録」－「4.振込手数料登録」をクリックします。
- ③ 「F8（修正）」をクリックします。
- ④ 「常陽銀行」をクリックし、「OK」をクリックします。

(2) 振込手数料登録画面で表示されている手数料が下記パターンの何れかになっていることを確認します。

※ <当方負担>用の振込手数料は、ひとつのパターンしかありません。

<先方負担>用の振込手数料は、EB 利用時の振込手数料で登録している場合と窓口利用時の振込手数料で登録している場合がありますので、パターン1・パターン2の何れかになっていることを確認してください。

<当方負担>

サービス種類	振込金額	当行宛		他行宛	
		本支店宛	同一店宛	他行電信	他行文書
総合	0円以上～30,000円未満	110円	0円	440円	0円
	30,000円以上	330円	0円	660円	0円
給与・賞与		0円	0円	0円	

<先方負担パターン1> EB手数料が表示されている場合

サービス種類	振込金額	当行宛		他行宛	
		本支店宛	同一店宛	他行電信	他行文書
総合	0円以上～30,000円未満	110円	0円	440円	0円
	30,000円以上	330円	0円	660円	0円

<先方負担パターン2> 窓口手数料が表示されている場合

サービス種類	振込金額	当行宛		他行宛	
		本支店宛	同一店宛	他行電信	他行文書
総合	0円以上～30,000円未満	330円	330円	660円	0円
	30,000円以上	550円	550円	880円	0円

## 2. 振込手数料テーブルの変更手続きをおこないます。

### 【変更作業時期】

10月1日以降に操作される総合振込データ作成前にお願いいたします。

(例) 10月1日に振込データを作成するのであれば、振込データ作成の直前までに設定変更願います。

操作日	9月30日以前	10月1日(金)	10月4日(月)
作業内容	設定変更	振込データ作成・送信	振込指定日

(1) 「当方負担」と「先方負担」のタブを切替し、2箇所を修正します。

「当方負担」は下記①と同じ値に、「先方負担」は下記②の値に修正しますが、1-(2)のパターン2で登録されている場合は、窓口振込手数料に変更がないため変更作業は不要です。

① 「当方負担」のタブから修正します。

#### <当方負担>

<b>当方負担</b>	先方負担
-------------	------

サービス種類	振込金額	当行宛		他行宛	
		本支店宛	同一店宛	他行電信	他行文書
総合	0円以上~30,000円未満	110円	0円	<b>385円</b>	0円
	30,000円以上	330円	0円	<b>550円</b>	0円
給与・賞与		0円	0円	0円	

② 続いて「先方負担」のタブをクリックし、1-(2)のパターン1で登録されている場合のみ、次の値に修正します。

#### <先方負担> EB 手数料が表示されている場合

当方負担	<b>先方負担</b>
------	-------------

サービス種類	振込金額	当行宛		他行宛	
		本支店宛	同一店宛	他行電信	他行文書
総合	0円以上~30,000円未満	110円	0円	<b>385円</b>	0円
	30,000円以上	330円	0円	<b>550円</b>	0円

※窓口手数料で振込手数料差引計算される場合は、窓口手数料の変更はありません。

※2016年10月1日から足利銀行あての振込は、当行本支店あて振込手数料が適用となっております。  
振込手数料登録画面の下にある「Gr.銀行(F9)」から足利銀行をグループ銀行として登録していただくと、当行本支店あて振込手数料で計算ができるようになります。

(2) 「登録」をクリックします。

(3) “登録します”のメッセージを確認し、「OK」をクリックします。

(4) 「F12(閉じる)」をクリックします。

(5) これで振込手数料テーブル変更は完了です。

#### <ご注意>

振込手数料テーブル変更後に、はじめてデータ作成およびデータ送信をされる場合は、正しく振込手数料計算がなされたことを確認願います。

お問い合わせ窓口(銀行窓口営業日 9:00~18:00)  
常陽銀行 EB センター 0120-013004